

石川県内の水防機関により水防工法技術研究会を実施

「水防技術の研鑽と継承を図るために」

出水期を前に、石川県内の水防機関（約180名）の参加を得て、手取川の川北町簡易グラウンドにおいて、水防工法技術研究会を下記のとおり開催し、水防技術の研鑽と継承を図ります。

記

1. 目的

手取川・梯川水防連絡会では、6月からの出水期に備えて、水防活動における工法、技術の習得と継承を目的として、「水防工法技術研究会」を行います。

「水防工法技術研究会」は、平成2年度から開催しており、平成19年度で17回目（平成3年度は荒天により中止）となります。開催にあたり石川県土木部河川課の協力を得て、石川県内から21機関・約180名が参加する予定です

2. 実施内容

日時 平成19年 5月31日（木） 午前10時から午後3時まで

（※ 現地取材は、14：00頃から14：20頃の実践的な水防作業を実施していますので写りがよろしいかと思えます。）

場所 川北町 川北町手取川簡易グラウンド（手取川右岸 辰口橋下流）

3. 参加機関

石川県内の21の水防関係機関、参加者約180名の予定（途中集計）

4. 主催

手取川・梯川水防連絡会（国土交通省金沢河川国道事務所、小松市、白山市、能美市、野々市町、川北町、石川県、北陸電力(株)、電源開発(株)、西日本旅客鉄道(株)）及び水防関係機関、北陸地方防災エキスパート

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

（河）副所長 畠中 康彦

調査第一課長 万行 康文

TEL : 076-264-8800（代表）



平成18年度の実施状況
「月の輪工」の作業状況

参考

- ・ 水防作業とは

水害を防ぎ、また被害を少なくするため、水防団等により実施される水防活動であり、古くから洪水により河川が越水や漏水などが見られた場合に、被災の原因・川の特性、地盤の状況にそれぞれ適した工法が考えられ受け継がれています。良く用いられる工法としては、川が越水するときを使用される「積み土のう工」、堤防に漏水が見られたときに使用される「月の輪工」、堤防が削られたときに使用される「シート張り工」「木流し工」「立てかご工」などがあります。